日本体育大学医療専門学校整復健康学科では以下の研究を実施しています。

この研究について詳細に知りたい方は「問い合わせ先」までお問い合わせください。また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、情報の使用を拒否することができますので、「問い合わせ先」に連絡してください。

研究の名称	柔道整復師国家試験の合否および点数と学内成績との関連性について 研究倫理委員会許可番号：023-02号
研究責任者	整復健康学科　吉田　裕輝
研究期間	2023年12月1日～2025年3月31日
研究の目的・概要	近年柔道整復師国家試験の合格率は低下しています。少子化に伴い柔道整復師養成校の入試倍率は低下、学校によっては定員割れしており、入学者の学力低下が合格率低下の原因の一つと考えています。専門学校は国家試験合格のみを目的とした教育機関ではありませんが、客観的な学校の評価として、国家試験の合格率は重要視されているのは言うまでもありません。国家試験合格率向上のために日々試行錯誤しながら教育に励んでおりますが、今まで各教員の経験に基づき主観的に行われています。卒業生の在学時代の成績と国家試験の合否および点数との関連性を分析することで、早期に合格できそうか否かの予測ができれば、国家試験対策に重点を置くべき学生の判別を客観視できると考えます。そこで、下記の情報を用いて分析を行うことで、今後の国家試験対策の充実化および合格ラインを下回ると予想される学生への早期アプローチを図るための材料とすることを目的として実施します。
利用または他機関に提供する情報	2016から2022年度に日本体育大学医療専門学校整復健康学科（柔道整復科）の昼間部を卒業して柔道整復師国家試験を受験した卒業生のうち、国家試験の自己採点結果を同学校に通知された方の以下の情報を利用します。 1年生～3年生までの成績、1年生～3年生までの各期末試験と追再試験の点数、卒業時に受験した国家試験の合否およびその点数（不合格者が翌年受験した点数は含みません）
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	得られた情報から、在学時代の成績および期末試験の取得点数と国家試験の合否およびその得点との関連性を分析します。成績と期末試験結果ではどちらの方が国家試験点数と関連がより強いのかを分析します。また、国家試験合格者と不合格者に分けて、点数の差異を分析するとともに、どの時期にどの程度の成績または期末試験点数を取得すれば国家試験に合格できる見込みがあるのか、その合格率を推測をします。得られたデータはすべて，仮名加工情報とすることで個人を特定できない形として保存します。そして，データ分析に用いる専用のコンピュータを用い、パスワード保護を行い、厳重に保管します。 得られた成果は，個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます. 当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません.
情報を利用する者の範囲	研究責任者 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科長　吉田　裕輝 研究担当者 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科主任　園部　英貴 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科　立花　要 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科　又吉　啓太 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科　菱沼　良平 日本体育大学医療専門学校　整復健康学科　熊谷　将史
問合わせ先	日本体育大学医療専門学校　整復健康学科　吉田　裕輝 電話：03-5717-6161